

# 大 使 館 情 報

2018年2月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（1月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（1月の出来事）

#### [内政]

- (1) 次期大統領選挙関連
- (2) 閣僚人事

#### [外政]

- (1) 朝鮮半島情勢
- (2) コロンビア和平プロセス
- (3) バグダッドにおけるテロ
- (4) ベネズエラ問題
- (5) テメル大統領のダボス会議出席

### 3. トピックス

- (1) 山田大使のブラジリア日伯文化協会新年会出席
- (2) 山田大使と著名なブラジル日系人チェス関係者との意見交換
- (3) 平成30年新年会及び叙勲伝達式
- (4) 文化交流使・大友良英氏によるリオデジャネイロ日本人学校音楽特別授業（リオ総）
- (5) リオ州近郊鉄道ブラジル中央駅での日本文化紹介イベントの実施（リオ総）
- (6) アスー港のZPE（輸出加工特区）承認（リオ総）

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢等（1月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に基づくGDP成長率予測に関し、1月26日時点では、2018年のGDP成長率は2.66%で先週から下方修正、2019年のGDP成長率は3.00%とされた。また、2018年のインフレ率見通しは3.95%で3週連続の横ばい、2019年のインフレ率見通しは4.25%とされた。

(イ) 12月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で0.44%となり、前月の0.28%から上昇した。また、2017年のIPCAは2.95%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）の下限値を下回った。

(ウ) 11月の鉱工業生産指数は、前年同月比+4.7%で7か月連続でプラスを記録したほか、前月比では+0.2%となり、3か月連続でプラスを記録した。

(エ) 12月の貿易収支は、輸出額は175.95億ドル（前年同月比+10.4%、前月比+5.5%）、輸入額は125.98億ドル（前年同月比+9.3%、前月比▲4.1%）で、差引き49.98億ドル（前年同月比+13.2%、前月比+41.2%）となり、34か月連続で貿易黒字を記録した。また、2017年通年の輸出額は2,177.39億ドル（前年比+17.5%）、輸入額は1,507.49億ドル（前年比+9.6%）で、差引き669.90億ドル（前年比+40.5%）となり、貿易黒字額は2016年に続いて過去最高を2年連続で更新した。

(オ) 11月の小売売上高は、前年同月比+5.9%で8か月連続でプラスを記録したほか、前月比では+0.7%となり、2か月ぶりにプラスに転じた。

(カ) 全国の失業率（10～12月の移動平均）は11.8%となり、前回の公表値（9～11月の移動平均）から0.2%下落して9か月連続で改善した。

### (2) 経済政策等

(ア) 1月10日、銀行大手のブラジル・サンタンデール銀行は、BRICS 5か国が出資する新開発銀行（NDB）とブラジル国内のインフラプロジェクトへの融資で提携すると発表した。

(イ) 1月11日、格付会社S&P社は、ブラジルの長期国債（外貨及び内貨建て）の格付けを“BB”から“BB-”（投資適格級から3段階下の格付け）に1段階引下げるとともに、格付け見通しを「ネガティブ」から「安定的」に変更した。

(ウ) 1月11日、財務省は、S&P社による格下げについて、連邦政府としては、年金制度改革、税制上の優遇措置、財政再建、公務員の給与改定時期の延期など、ブラジル経済の持続的な成長と長期的な財政収支の長期的な確保に貢献する取り組みを行うことを再確認したとのプレスリリースを発表した。

(エ) 1月12日、ブラジル証券取引委員会（CVM）は、機関投資家に対してビットコイン等の暗号通貨（cryptocurrency）の直接投資を禁止するガイドラインを発表した。

### (3) 中銀の金融政策等

(ア) 1月は政策金利（Selic）を決定する中銀の金融政策委員会（Copom）は開催されていない。次回会合は、2月6・7日に開催予定。

(イ) 1月10日、ゴールドファイン中銀総裁は、2017年のインフレ率（IPCA）が2.95%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）の許容範囲を下回った理由について、国家通貨審議会（CMN）

の議長を務めるメイレス財務大臣に対して公開書簡を提出し、記録的な豊作等の影響により外食を除く食料費（▲4.85%）がデフレとなったことを挙げた。

#### （４）為替市場

（ア）１月のドル・レアル為替相場は、原油価格の上昇や世界的なリスクオンの基調を背景に堅調に推移した後、ルーラ元大統領の二審有罪判決を受けてレアルは上昇する展開となった。

（イ）月の前半は、原油価格の上昇や世界的なリスクオンの基調を背景に、１ドル＝3.2レアル台で堅調に推移した。

（ウ）月の後半は、堅調な流れが継続した後、24日のルーラ元大統領の二審有罪判決を受けてリスクオンの動きが強まり、１ドル＝3.14レアル台までレアルは上昇した。月末は１ドル＝3.1875レアルで取引を終えた（前月比3.8%のドル安・レアル高）。

#### （５）株式市場

（ア）１月のブラジルの株式相場（Ibovespa指数）は、為替市場と同様に原油価格の上昇や世界的なリスクオンの基調を背景に堅調に推移した後、ルーラ元大統領の二審有罪判決を受けて大幅に上昇する展開となった。

（イ）月の前半は、原油価格の上昇や世界的な株高の流れを受けて堅調に推移し、株価指数は過去最高を更新して79,000ポイント台まで上昇した。

（ウ）月の後半は、企業決算への期待から上昇基調が強まり、株価指数は節目となる80,000ポイントを突破した後、24日のルーラ元大統領の二審有罪判決を受けてリスクオンの動きが更に強まり、株価指数は史上最高の85,000ポイント台まで急上昇した。月末の株価指数は84,912.70ポイントとなり、前月比+11.1%の大幅な上昇となった。

## **２．ブラジル政治情勢（12月の出来事）**

### **【内政】**

#### （１）次期大統領選挙関連

（ア）１月５日、ボルソナーロ下院議員は、大統領選出馬を見据えて、PSL（自由社会党）への移籍を発表。

（イ）１月24日、ポルトアレグレ市の第4管区連邦地方高等裁判所で、ルーラ元大統領に対する控訴審（第二審）判決が下され、12年1か月の有罪が確定。これにより同元大統領の本年大統領選挙への出馬は一層困難に。

#### （２）閣僚人事

（ア）１月3日、ペレイラ産業貿易大臣が辞任。

（イ）１月3日、大統領府は、クリスチアーニ・ブラジル下院議員（PTB）を新労働大臣に指名。同月8日、リオデジャネイロ連邦地方裁判所は、同議員の大臣就任を差し止める仮処分を決定（過去に労働法違反により提訴されていた事実等を捉えて、民間弁護士グループが提訴していたもの）。連邦政府は連邦高等裁判所に控訴して仮処分決定の取り消しを二度請求するも、いずれも棄却され、ブラジル議員の大臣就任が不透明に。

## 【外政】

### (1) 朝鮮半島情勢

1月9日、伯外務省は、同日に板門店において開催された韓国・北朝鮮間の会談の開催を歓迎する旨の声明を発表。また、北朝鮮が韓国の招待に応じ、平昌五輪に代表団派遣を決定したことを外交の活力とオリンピック精神を示すものと表明。

### (2) コロンビア和平プロセス

1月11日、伯外務省は、コロンビアで発生した停戦期限後の襲撃事件に対する非難声明を发出。双方が速やかに協議を再開し、新たな停戦合意を樹立するための環境の整備を求めると共に、和平プロセス交渉のために協力をする用意がある旨を表明。

### (3) バグダッドにおけるテロ

1月15日、伯外務省は、同日、イラクのバグダッドにおいて発生したテロ事件に対し全てのテロ行為を改めて非難するとともに、イラク政府、国民及び被害者家族との連帯の意を表明。

### (4) ベネズエラ問題

(ア) 1月23日、伯外務省は、本件問題に関し、同日、チリ・サンチアゴで開催された第4回リマ・グループ(亜、伯、加、チリ、コロンビア、コスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス、墨、パナマ、パラグアイ及びペルー)会合の共同宣言を発表。

(イ) 同宣言では、ベネズエラ政府による本年4月までに大統領選挙を実施する決定を拒絶する旨表明すると共に、大統領選挙はベネズエラの全ての政治アクターの参加の下、独立した国際選挙監視団の参加を含め、然るべく保証がなされた上で、適切な予期をもって開催されることを要請。加えて、人命喪失を伴う暴力行為を非難し、ベネズエラ政府に対し、法の支配、市民の基本的権利の保証、社会平和を回復するための措置を緊急に採ることを求めている。

### (5) テメル大統領のダボス会議出席

(ア) 1月24日、テメル大統領は、世界経済フォーラムの本会合に出席すると共に、ビジネスリーダーと会合した。本会合では、同大統領は、責任、対話、効率性、合理性、開放をキーワードに上げ、「伯における改革は伯が国際市場に積極的に参加するための力を与えた」と主張。就任1年9か月間における伯経済の回復及び伯政府による施策を挙げ、伯を軌道に戻したことを強調した。

(イ) テメル大統領は、11人のビジネスリーダー(Cargill, Goldman Sachs, Coca-Cola, Dow Chemical, Enel, Arcelor Mittal, Shell, ABInBev等)と会合すると共に、ロウレンソ・アンゴラ大統領、ハリリ・レバノン首相、グリアOECD事務局長と会談した。

## 3. トピックス

### (1) 山田大使のブラジリア日伯文化協会新年会出席

1月1日、山田大使はブラジリア日伯文化協会で開催された新年会に出席した。

山田大使は、日本人ブラジル移住110周年に当たる2018年の新年の挨拶を行い、日本とブラジ

ルが緊密な友好協力関係にあるのは、日本人移住者・日系人の方々の長年にわたる尽力によりブラジルにおいて信頼を築いてきたことによるところが大きい旨述べ、110周年を日系人、ブラジル人の方々と共に祝い、日伯両国関係を一層発展させたい旨を述べた。その後参加者と、餅つきなどを行って、交流を深めた。



## (2) 山田大使と著名なブラジル日系人チェス関係者との意見交換

1月13日(土)、山田大使は、各界で活躍するブラジル日系人との関係を深めるとの目的から、世界的に活躍する日系人チェス関係者を公邸に招き意見交換を実施し、今後の活躍を期待する旨激励した。

なお、参加者は次の通り。

- ・エヴェラルド・マツウラ氏 (グランド・マスター (GM), 2016年全伯チェス・オープン優勝)
- ・ジュリアナ・サユミ・テラオ氏 (FIDE マスター (FM), 2016年全伯チェス女子優勝)
- ・エジソン・ケンジ・ツボイ氏 (インターナショナル・マスター (IM), チェスオリンピック元伯代表)
- ・星野華怜氏 (ウーマン FIDE マスター (WFM), 2017年チェス全日本女子選手権優勝)
- ・スエリー・タイラ氏 (XADREZ NOVA GERACAO 代表)
- ・星野怜吟氏 (日本人初のチェス国際連盟 Developmental Instructor 資格取得)

会食前には、GM マツウラ氏及び FM テラオ氏によるチェス・ブリッツ (早指し 3分×1手3秒) のエキシビションが行われた他、GM マツウラ氏の誘いで山田大使もチェスを行い交流を深めた。





### (3) 平成30年新年会及び叙勲伝達式

1月31日(水)、在ブラジル日本国大使公邸にて平成30年新年会及び叙勲伝達式が開催され、政府・議会関係者及び日系社会代表者から300名を超える方々に御出席頂いた。

新年会では、日本ブラジル両国歌の演奏後、山田大使が新年の挨拶を述べた。山田大使は挨拶の中で、日本人によるブラジル移住110周年にあたる今年、日・ブラジル両国関係のさらなる発展、また、日系社会との絆のさらなる強化について決意を表明した。

続いて、勲章伝達式が行われ、日系社会の活動に積極的に参画し日ブラジル両国の関係発展に貢献した元ブラジル陸軍中將のパウロ・カズノリ・コマツ氏に「旭日中綬章」が、また、長年にわたる日本文化（生け花）の紹介を通じた対日理解促進に貢献したブラジリア生け花草月会長のジラ・テレジーニャ・ダ・コスタ・ハイムンド氏に「旭日双光章」が、さらに、日系人の地位向上と日ブラジル間の友好親善に貢献した武信和男氏に「旭日単光章」が授与された。

本レセプションにて出席者の方々は、新しい年の始まりと3名の叙勲受章者を祝しつつ、和やかな雰囲気の中で食事と歓談を楽しみました。



レセプションの様子



叙勲伝達式の様子



大使挨拶



鏡割り



叙勲受章者の3名



メインビュッフェ



にぎり寿司屋台



天ぷら屋台



日本酒コーナー



雑煮コーナー

#### (4) 文化交流使・大友良英氏によるリオデジャネイロ日本人学校音楽特別授業（在リオデジャネイロ総領事館）

昨年11月29日、文化庁が指名する「文化交流使」であり、NHKの朝のドラマ「あまちゃん」の主題歌等の音楽作曲でも有名な音楽家、大友良英氏による特別授業が、リオデジャネイロ日本人学校において実施された。同校の児童10名及び保護者・教員は、同氏考案のハンドサインの指揮法に沿った即興演奏を体験し、その後、同校が作詞・作曲した「リオデジャネイロ音頭」を同氏も交えて全員で踊った。

同氏からは、自身も子どもの頃に両親の転勤に伴って、ブラジルの日本人学校に就学する可能性があったことから、本日の訪問には特別な意味がある、日本の外に出て異なる文化を学んでいくことは重要なので頑張してほしいとの言葉があった。



ワークショップの様子



大友氏との集合写真

#### (5) リオ州近郊鉄道ブラジル中央駅での日本文化紹介イベントの実施（在リオデジャネイロ総領事館）

在リオデジャネイロ日本国総領事館は、昨年12月12日（火）から14日（木）の3日間、リオ州近郊鉄道の事業会社であるSuperVia社と協力し、ブラジル中央駅（Central do Brasil）で、日本文化紹介イベントを実施した。同駅は、映画「セントラルステーション（Central do Brasil）」の舞台になったことで有名な駅であるが、現在は1日約15万人の乗降人員を有し、かつ、地下鉄、路面電車、バスの結節点としてリオ大都市圏の交通網を支える重要な駅となっている。

同イベントでは、同駅構内において、リオ日系太鼓による和太鼓の演奏、人気ユーチューバーのローガン夫妻による日本に関するトークショー、折り紙・マンガのワークショップ及び日本語紹介パフォーマンスを行い、同駅利用者に日本文化を紹介した。

なお、SuperVia社の事業には、三井物産株式会社、西日本旅客鉄道株式会社及び株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）が参画しており、各社の協力を得てのイベント実施となった。



和太鼓の様子



記念撮影（左から、プロペール・SuperVia 社社長、星野総領事、ピーニョ・リオ州交通局副長官、旭三井物産リオ支店長）



トークショーの様子



折り紙のワークショップ

#### （6）アスー港の ZPE（輸出加工特区）承認（在リオデジャネイロ総領事館）

昨年 12 月 27 日、リオ州サン・ジョアン・ダ・バーハ市（リオ市の北東約 300km）に位置するアスー港において、同港内の ZPE（輸出加工特区）建設を承認する大統領令の署名式が実施された。

同署名式には、テメル大統領、モレイラ・フランコ大統領府事務総局長官、マルコス・ペレイラ産業貿易大臣、ルイス・フェルナンド・ペザオン・リオ州知事らが参加し、テメル大統領は、労働改革等の現政権の成果を紹介しつつ、「アスー港の ZPE 承認は、連邦政府及びリオ州政府の努力の結果であり、これにより当地は大きく発展する。」旨のスピーチを行った。

同港は、130 平方 km の土地に複数のターミナルや工場等からなる複合的な港で、プルーモ・ロジスティカ社が運営している。2014 年に操業が開始され、ZPE 以外にも火力発電所の建設等の複数のプロジェクトが進んでおり、今後の発展が期待されている。



テメル大統領のスピーチ



テメル大統領らによる署名の様子

#### 4. 大使館からのお知らせ

##### (1) 文化イベント

##### **Expo-Japan (リオデジャネイロ)**

日時：1月15日(月)～2月23日(金)

場所：在リオデジャネイロ日本国総領事館 広報文化センター

内容：野口英世氏とゆかりのあるオズワルドクルス財団及びペトロポリス日系協会と共催で、野口英世と黄熱病に関するパネル、オズワルドクルス財団の関係機関であるフォーラム・イタボライ(昆虫研究機関)が所有する日本に生息する昆虫の標本、折り紙で作った昆虫等の展示を実施。

##### **アマパ日本週間(マカパ)**

日時：2018年2月1日～3日

場所：SEBRAE Amapá, Av. Ernestino Borges, nº 740, Laginho, Macapá (AP)

主催：在ベレン領事事務所

内容：太鼓や日本舞の実演、日本とブラジルの関係について浜田領事より講演、日本政府留学制度の説明会、民謡、生け花、漫画、折り紙、書道、そろばん、太鼓のワークショップ。

##### **第28回日本カレンダー展示会(クリチバ)**

日時：2月3日(土)

場所：クリチバ市市場アリーナ

内容：全国カレンダー協会から寄贈されたカレンダーの展示会

##### **日本映画上映(溝口健二監督特集)(サンパウロ・リオデジャネイロ)**

日時：①2018年2月20日(火)～3月6日(火)(上映会)

②2018年3月6日(火)(講演会)

③2018年3月6日(火)～3月21日(水)(上映会)

④2018年3月10日(土)(講演会)

場所：①・②モレイラ・サレス財団サンパウロ

Avenida Paulista, 2424 - Cerqueira César

③・④モレイラ・サレス財団リオデジャネイロ

Rua Marquês de São Vicente, 476 - Gávea

内容：溝口健二監督の作品を特集した上映会を実施する。

上映会にあわせて日本から京都大学木下千花准教授、リオデジャネイロからフルミネンセ連邦大学 João Luiz Vieira 教授を招へいし、講演会を実施する。

URL： <http://www.ims.com.br>

**第7回ミナス日本祭り（ペロオリゾンテ）**

日時：2月23日（金）～25日（日）

場所：エキスポ・ミナス

内容：日本食普及の親善大使である小池信也氏による和食に関する講演、日本酒のソムリエであるヤスミン・ヨナシロ氏による日本酒のテイスティングをはじめ、柔道・空手等の模範演技、コスプレ・コンクール、生け花や押し絵のワークショップ等、様々な日本文化を3日間に渡り紹介。

URL： <http://www.festivaldojapaominas.com.br/site/>

**和音和技公演（ペロオリゾンテ）**

日時：2月23日（金）～2月25日（日）

場所：第7回ミナス日本祭り - Expominas - Belo Horizonte Av. Amazonas, 6200, Belo Horizonte - MG, Brasil

内容：日本からけん玉グループの和音和技を招へいし、三味線を取り入れたけん玉パフォーマンスを実施する。

URL： <http://www.festivaldojapaominas.com.br>

**（2）外務省 海外安全ホームページ**

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

**（3）ブラジル渡航情報**

**（ア）危険情報**

12月8日付で内容を改訂したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）

- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html)

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=259>

(ウ) テロ・誘拐情勢

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror.asp?id=259>